

冷蔵ショーケース：124L

取扱説明書



冷蔵庫・冷凍庫・製氷機・ストッカー
レンタル専門店

笑顔のボタンタッチ

 上州物産株式会社

〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL：027-289-6080

FAX：027-289-6166

緊急連絡先：080-5643-7181

目次

- ・メーカー取扱説明書
- ・返送時梱包手順

【レンタル商品の消費電力を御確認下さい】

ご利用商品によっては、たこ足配線等が原因で電圧が低下する恐れがありますので、ご注意下さい。

電圧が低下すると、商品が正常に動作しない場合がございます。

突然作動しなくなった場合は、建物のブレーカーが落ちた可能性がございます。

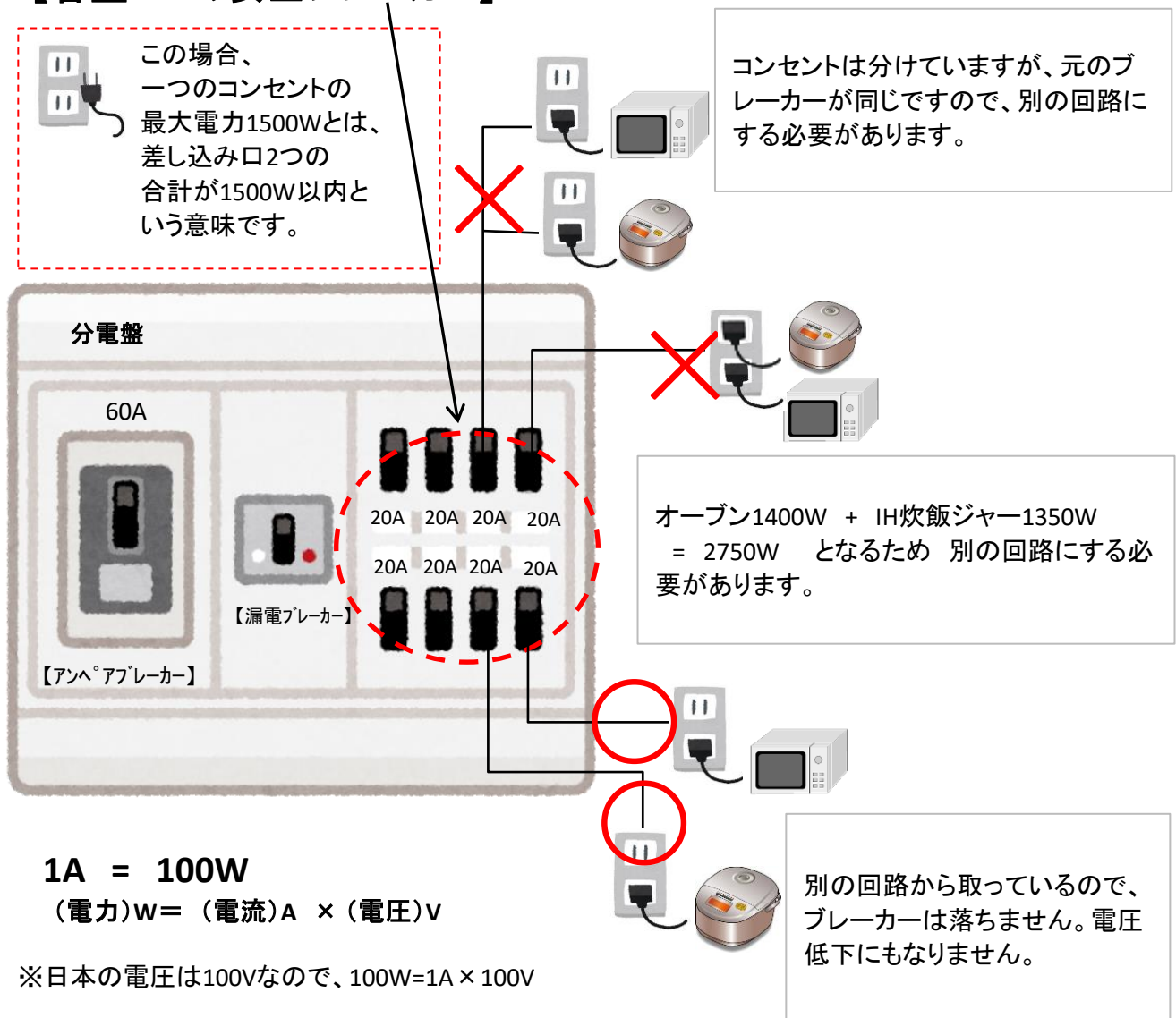
また、一つのコンセントの最大電力は1500Wまでとなります。

複数台の電化製品を使用する場合、コンセントを分けても元となるブレーカーが同じ場合は電圧低下となる可能性が高いです。

その場合、コンセントを分けるのではなく、ブレーカーの回路を分けてお使いください。

商品を正常にご利用いただく為に、お客様の利用環境を御確認ください。

【容量20Aの安全ブレーカー】



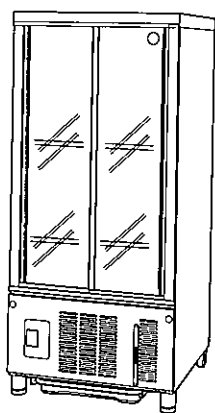
HOSHIZAKI

小形冷蔵ショーケース SSB シリーズ



もくじ

取扱・据付工事説明書



SSB-48DTL

このたびは、ホシザキ商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書をお受け取りください。

ご使用の前に

- 重要なお知らせ……………2
- 安全上のご注意……………2
 - 安全装置
 - PLラベル(警告)の貼付位置
- 各部のなまえとその働き……………3
 - 操作パネル
- 付属品……………3
- お使いになる前に……………3
 - 据付工事終了時の確認
 - 製品上に重置物を設置する場合
 - 運転前の確認

運転・停止のしかた

- 運転・停止のしかた……………10
 - 運転の手順
 - ガラス扉の開閉
 - 庫内温度設定のしかた
 - 強冷運転設定のしかた
 - 霜取りについて
 - 棚網の取り付けかた
 - ドレンパンの取り付けかた
 - 商品の入れかた
 - 停止の手順

お手入れと点検

- お手入れと点検……………14
 - サービスマンによる安全点検のおすすめ
 - お手入れのしかた
 - 毎日のお手入れ
 - 1週間に1回のお手入れ
 - 1か月に2回のお手入れ
 - 1か月に1回の点検
 - 1年に1回の点検
 - 消耗品・定期交換部品

- 長期停止……………19
 - 長期停止の手順

アフターサービス……………20

- 保証書(ホシザキ販売会社発行)
 - 補修用性能部品の保有期間
 - 修理を依頼されるとき
 - ネームプレート貼付位置
 - 保証とサービス

知っておいてください

- 修理を依頼される前に……………22
 - 動作の異常
 - 警報表示
- 仕様……………23
- お手入れガイド……………24

据付工事説明

重要なお知らせ

■ 食品衛生法に基づく食品等事業者の法的責務

食品衛生法により、食品等事業者は自らの責任において食品の安全性を確保するよう求められています。製品の安定した性能維持のために毎日の点検・清掃を行い、衛生的にお使いください。

■ フロン排出抑制法に基づく法的責務

フロン排出抑制法により、業務用冷凍空調機器（第一種特定製品）の管理者（所有者または使用者）は、主に、以下の適正管理が求められています。みだりにフロン類を大気中に放出した場合、罰則が適用されます。

1. 四半期に1回以上、冷媒漏えいの兆候の有無（冷え具合や氷の出来、配管の腐食など）を、管理者が自ら目視確認できる範囲で点検すること。
一定規模以上の製品（電動機の定格出力が7.5 kW以上）のみ、1年に1回以上、専門知識を有する者による点検が必要です。
2. 点検時の冷媒漏えいの兆候の有無、及び故障が発生した時の整備結果記録を設置から廃棄後3年間、あるいは譲渡するまで保存すること。
3. 廃棄する場合は、都道府県知事の登録を受けた第一種フロン類充填回収業者にフロン回収を依頼し、その費用を負担すること。なお、フロン類の引取証明書（原本）は3年間保存すること。

* フロン排出抑制法の詳細については、各都道府県の窓口へお問い合わせください。

また、点検方法などについては、最寄りのホシザキ販売会社までお問い合わせください。

■ お客様の個人情報に関するお取り扱いについて

ホシザキ株式会社およびホシザキグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ホシザキ製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただきます。これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 当社は、お客様の個人情報を、下記の場合を除いて第三者への開示・提供はいたしません。
 - ・ 修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合
 - ・ 法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合
 - ・ その他正当な理由がある場合
3. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。

お客様の個人情報に関するお問い合わせは、裏表紙に記載のご相談窓口をお願いします。

■ 商標または登録商標について

この取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 移設・廃棄・譲渡について

- この冷蔵ショーケース（以下「製品」）は、国内での使用を前提にしています。したがって、海外諸国での規格などの適用・認定などは実施していません。この製品を国外へ持ち出し、使用した場合、事故などによる補償の問題が発生することがあっても、当社は、直接・間接を問わず、一切の責任を負いません。
- この製品を移設する場合は、専門業者が最寄りのホシザキ販売会社にご相談ください。据付不備があると水漏れ、感電、火災などの原因になります。
- この製品を廃棄する場合は、専門業者が最寄りのホシザキ販売会社にご相談ください。不法投棄すると、罰則が適用されます。また環境破壊の原因にもなります。
- みだりにフロン類を放出した場合、罰則が適用されます。廃棄・整備するときは、第一種フロン類充填回収業者に回収を依頼してください。（第一種特定製品）
- そのまま放置すると、幼児などが扉を手をはさんだり、ケガをする原因にもなります。
- この製品を転売・譲渡する場合は、新しい所有者に正しくお使いいただくため、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めて渡してください。また、添付されているすべてのもの（保証書、付属品）を、新しい所有者に渡し、転売（または譲渡）した側は、一切の複製物を保持しないでください。
- この製品を転売・譲渡する場合は、新しい所有者を最寄りのホシザキ販売会社にご連絡ください。

■ 使用目的・用途について

- この製品は、食品等を適温に冷却し、一時的に保存する目的で作られています。それ以外の用途で使用すると、保存品の品質低下等の原因になることがあります。
- この製品は、業務用として作られています。家庭用には使用しないでください。
- 事故を防止するため、この製品本来の使用目的以外の使用やこの取扱説明書に記載している以外の運転・保守作業はおやめください。

■ 取り扱い上の注意

- 当社は、この取扱説明書記載の指示事項を守らなかったり、製品を改造・乱用・誤用したり、あるいは運転・保守作業に当たり、通常払うべき注意または用心を怠って生じた損害ならびに傷害に対しては一切責任を負いません。
- 当社は、この製品の取り扱い上の危険について、すべての状況を予測することはできません。したがって、すべての危険を取扱説明書や製品に貼り付けているPLラベルで伝えることはできません。事故を防止するため、製品の運転・保守作業を行う場合は、この取扱説明書やPLラベルに記載の指示事項だけでなく、十分気を付けてください。
- 製品の性能、故障および耐久性は、日常の取り扱いや整備によっても変わります。
- この取扱説明書は、日本語を理解できる人を対象に作成されています。管理者は使用される方に対して、安全・操作指導を徹底してください。
- 管理者は、この製品を使用される方が代わった場合には、この取扱説明書を理解させて、かつ安全・操作指導してください。

■ 取扱説明書について

- この製品には、設計上の対策や安全装置によって除去できないものについては、警告文として情報を提供しています。
- この取扱説明書の内容は、製品改良により、予告なく変更する場合があります。
- この取扱説明書に記載されている図は、実際の製品とは異なることがあります。また、図の一部は、製品内部の説明を容易にするために、省略していることがあります。
- この取扱説明書は当社が著作権を有しています。この取扱説明書を含む図面および技術文書のいかなる箇所も当社の事前の同意書なしに、複写、電子媒体など、どのような方式であっても複写することはできません。
- この取扱説明書を紛失、または損傷した場合は、速やかに最寄りのホシザキ販売会社にご注文ください。取扱説明書のない状態での使用は、事故発生の原因となります。
- より詳しい情報が必要とする場合やご質問がある場合は、最寄りのホシザキ販売会社にお問い合わせください。

■ 保証書について

- 保証書はホシザキ販売会社で発行します。
必ずお受け取りいただき、よくお読みになり大切に保管してください。

■ 地球温暖化防止対策への取り組み

- この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロンを回収する必要があります。冷媒を使用している製品に「フロンの見える化」ラベルを貼り、冷媒の地球温暖化に与える影響や廃棄時のフロン回収率の向上をうながしています。



(貼付けラベル例)



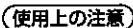

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので守ってください。
表示と意味は次のようになっています。


- 表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

人身事故、物的損害および製品本体の損害に関する警告表示










*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をいいます。

 警告	誤った取り扱いをしたときは、死亡、後遺症などの重大な被害の可能性があることを意味します。
 注意	誤った取り扱いをしたときは、軽度の傷害が発生する可能性があることを意味します。
 使用上の注意	誤った取り扱いをしたときは、製品が故障する可能性があることを意味します。
 お知らせ	製品本来の能力が発揮できないこと、あるいは、特に知っておいていただきたいことを意味します。

衛生に関する警告表示

 衛生	誤った取り扱いをしたときは、健康障害が発生する可能性があることを意味します。
--	--

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	(例)		分解禁止		接触禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。
	(例)		プラグを抜く		アース線接続	強制（すること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。
	(例)		感電注意		手はさみ注意	注意を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。

警告

! この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に取扱説明書をよく読み、よく読むこと
ケガの原因になります。



! 据付工事は専門業者に依頼すること
お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

専門業者



! アース工事を行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要)



アース工事

アース線を確実につなぐ



! 専用電源を使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用やタコ足配線をすると、感電、発熱、火災、また誤作動の原因になります。

専用電源

専用電源



! 屋外で使用しないこと
雨水のかかる場所で使用すると、漏電、感電の原因になります。

屋外禁止



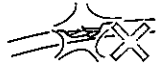
! 湿気の多いところや、水のかかりやすい場所で使用しないこと
湿気禁止 絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



! 電源コードを傷つけないこと
加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重い物を載せたり、はざみ込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止



! ぬれた手で電源プラグや元電源など電気部品に触れたり、電源スイッチ(漏電遮断器)を操作しないこと
感電の原因になります。



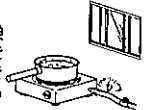
ぬれ手禁止



! 周辺のガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、換気すること
ガス漏れしたまま製品および換気扇など周辺機器のスイッチを操作したり、電源プラグを抜き差ししたりすると、火花による引火爆発の原因になります。



ガス栓閉



! 可燃性のスプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になります。



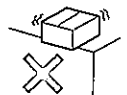
禁止



! 製品の上に物(重置物、水を入れた容器)を置かないこと
禁止 落下しケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり漏電の原因になります。



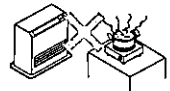
禁止



! 熱器具を周囲に置かないこと
熱でプラスチックが溶けたりして、火災の原因となります。



禁止



警告



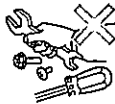
水掛け
禁止

製品に直接水をかけないこと
ショート、感電、さび、故障
の原因になります。



改造禁止

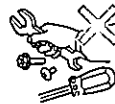
改造は行わないこと
改造すると、火災、感電、
ケガ、水漏れの原因になり
ます。



分解禁止

修理技術者以外の人は分解したり、修
理しないこと

異常動作をしてケガをし
たり、修理に不備があると、
火災、感電、ケガ、水漏れ
の原因になります。



電源を
切る

お手入れや点検をするときは、電源ス
イッチ（漏電遮断器）を「OFF(切)」
にし、電源プラグを抜くか元電源を切
ること

感電したり、機械が動いたとき、
ケガをする原因になります。



OFF(切)



点検掃除

電源プラグの刃の取付面にほこりが付
着してないか定期的に確認し、ガタの
ないように刃の根元まで確実に差し込
むこと

ほこりが付着したり、接続が不完
全な場合は、感電、火災の原因に
なります。



ほこりを取る



プラグを
持つ

電源プラグを抜くときは、コードを持
たずに必ず電源プラグを持つこと

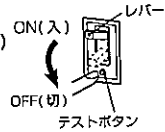
電源コードを引っ張るとコードが
傷つき、火災、感電の原因にな
ります。



動作点検

漏電遮断器の機能は月に1回、動作確
認すること

電源スイッチ（漏電遮断器）
を故障のまま使用すると、
漏電のとき動作せず、感電
の原因になります。



ON(入)

OFF(切)

テストボタン



連絡

電源スイッチ（漏電遮断器）が、
「OFF(切)」に作動した場合には、ホ
シザキ販売会社に連絡すること

無理にレバーを「ON(入)」
にすると、感電や火災の
原因になります。



連絡

異常時（焦げ臭いなど）は電源プラグを
抜くか、元電源を切つて、すぐにホシ
ザキ販売会社に連絡すること

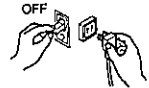
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因にな
ります。



電源を
切る

1週間以上使用しない場合は、電源ス
イッチ（漏電遮断器）を「OFF(切)」
にし、電源プラグを抜くか、元電源を
切ること

ほこりがたまって、発熱、
発火の原因になります。



OFF



専門業者

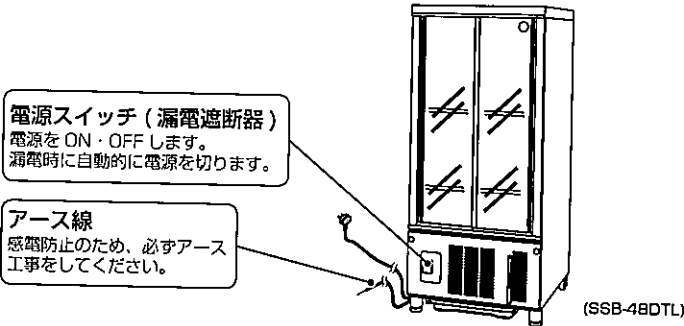
長期間、製品を止めていたあと、製品
を再び動かすときは、ホシザキ販売
会社に連絡すること

お客様自身で製品を再び動
かすのはおやめください。
感電などの原因になります。



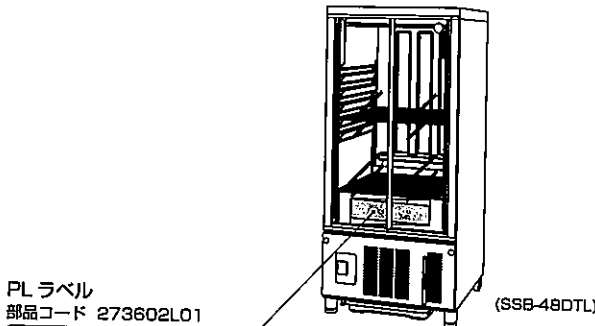
■ 安全装置

この製品には、使用者の安全を守り人身事故発生防止のため、次のような安全装置を組み込んでいます。これらの安全装置は、この取扱説明書に記載している「安全上のご注意」の厳守・禁止事項を遵守して初めて活かされるものです。また、これらの安全装置の機能が正常であることの点検を行う必要があります。(点検の周期は、使用頻度によって異なります。) ホンザギ販売会社に点検を依頼してください。(有料)



■ PL ラベル (警告) の貼付位置

- この製品には、正しく使用していただくため、PL ラベルが貼付してあります。よく読み、これらの注意に従ってください。
- PL ラベルを破損・紛失したり、記載文字が読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。PL ラベルはホンザギ販売会社にご注文ください。
- 汚れた場合は、きれいにふき取り、いつでも読めるようにしてください。



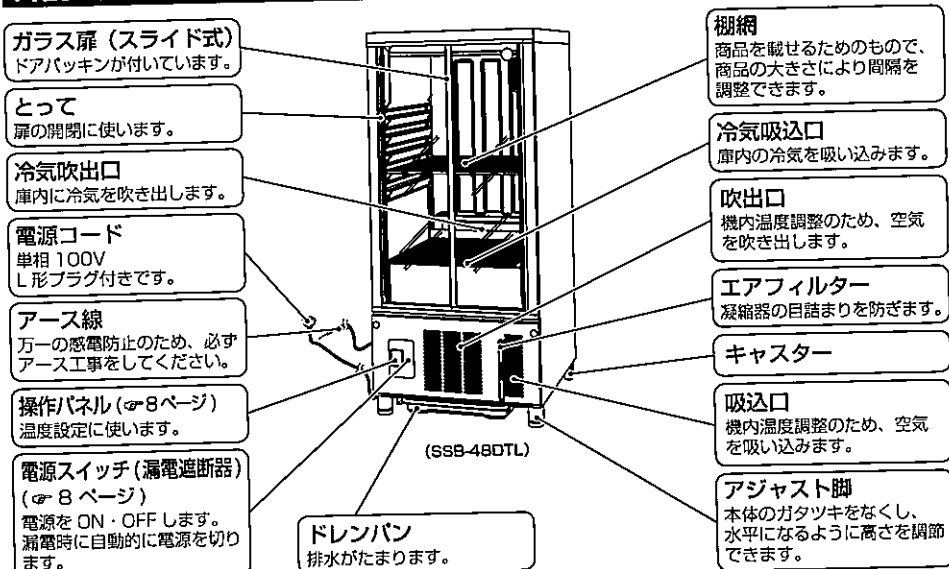
<p>警告</p> <p>この製品を正しくご利用していただくために、必ずよくお読みください。誤った使用は、人身事故や火災の原因となります。</p> <p>安全のためにお読みください</p> <p>● 設置場所の確保 設置場所の確保は、設置作業時に必ず行ってください。設置場所の確保は、設置作業時に必ず行ってください。</p> <p>● 電源スイッチの確保 電源スイッチの確保は、設置作業時に必ず行ってください。電源スイッチの確保は、設置作業時に必ず行ってください。</p> <p>● アース線の確保 アース線の確保は、設置作業時に必ず行ってください。アース線の確保は、設置作業時に必ず行ってください。</p> <p>● 点検の確保 点検の確保は、設置作業時に必ず行ってください。点検の確保は、設置作業時に必ず行ってください。</p>	<p>庫内温度の測定方法</p> <p>● ①この位置に温度計を設置し、庫内温度を測定してください。 ● ②また、この位置に温度計を設置し、庫内温度を測定してください。 ● ③また、この位置に温度計を設置し、庫内温度を測定してください。</p> <p>動作確認</p> <p>● ①電源スイッチを押して動作確認してください。 ● ②電源スイッチを押して動作確認してください。</p> <p>動作確認</p> <p>● ①電源スイッチを押して動作確認してください。 ● ②電源スイッチを押して動作確認してください。</p> <p>動作確認</p> <p>● ①電源スイッチを押して動作確認してください。 ● ②電源スイッチを押して動作確認してください。</p>	<p>お読み</p> <p>● 設置場所の確保 設置場所の確保は、設置作業時に必ず行ってください。設置場所の確保は、設置作業時に必ず行ってください。</p> <p>● 電源スイッチの確保 電源スイッチの確保は、設置作業時に必ず行ってください。電源スイッチの確保は、設置作業時に必ず行ってください。</p> <p>● アース線の確保 アース線の確保は、設置作業時に必ず行ってください。アース線の確保は、設置作業時に必ず行ってください。</p> <p>● 点検の確保 点検の確保は、設置作業時に必ず行ってください。点検の確保は、設置作業時に必ず行ってください。</p>
--	---	---

(庫内冷氣吸込口カバーに貼り付け)

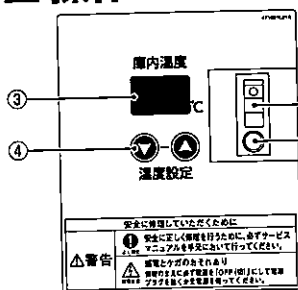
各部のなまえとその働き

この製品は、食品等を適温に冷却し、一時的に保存するためのものです。
この取扱説明書では SSB-48DTL を基に説明しています。

外観・内部名称



操作パネル



- ① 電源スイッチ (漏電遮断器)
● 製品の電源を ON・OFF します。
- ② テストボタン
● 月に 1 回テストボタンを押して、動作確認をします。
(☞ 18 ページ)
- ③ 庫内温度表示部
● 庫内温度を表示します。
● 霜取中は「dF」を表示します。(☞ 12 ページ)
また、異常時には警報表示番号を点滅します。(☞ 22 ページ)
- ④ 温度設定ボタン (▲・▼)
● 庫内温度設定を表示・変更させたいときに押します。
(☞ 11 ページ)

付属品

取扱・据付工事説明書 (1 冊) 部品コード L1S094-02	
ドレンパン (1 個) 部品コード 117044-01	

棚網
(個数、部品コードは、
☞ 23 ページの「仕様」参照)

お知らせ

- 棚網をご注文の際は、ホシザキ販売会社にお問い合わせください。

お使いになる前に

■ 据付工事終了時の確認

据付工事終了時の確認は、お客様が立ち会いのうえ、専門業者と一緒に行ってください。
据付工事が終了しましたら、正しい工事が行われたことを「据付工事説明」に従って確認してください。
(☎ 25 ページ)

■ 製品上に重量物を設置する場合

製品上に重量物を設置する場合は、下表を目安にしてください。

製品	天板耐荷重
SSB-48DTL	50kg
SSB-63DTL/63DL	60kg
SSB-85DTL/85DL	80kg
SSB-48DT/70D/70DT	設置できません

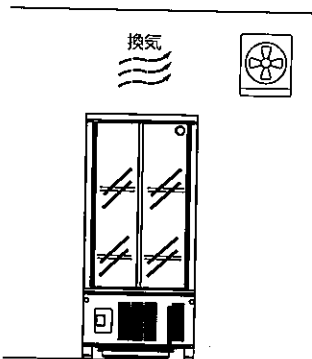
使用上の注意

- 設置場所の床面は、十分な強度があることを確認してください。
- 製品上に重量物を設置する場合は、荷重が一点に集中しないよう強度のある厚手の敷板を敷いてください。
(敷板の質量も含み、天板耐荷重を超えないようにしてください)
- 天板耐荷重には、載せる機器や設備の質量だけでなく、その機器や設備に入れる(載せる)商品、備品等の一時的なものもすべてを含んで天板耐荷重の値を超えないようにしてください。

■ 運転前の確認

使用上の注意

- 使用温度範囲は周囲温度 5～30℃です。
この温度範囲以外では、正常に動作しないことがあります。
- 周囲温度が 30℃を超える場合は、換気扇などで換気してください。
- 直射日光や発熱器具(コンロなど)の影響を受けないようにしてください。やむをえず直射日光の当たるところで使うときは、必ず日除けを付けてください。
- 製品の前に物を置かないでください。



お知らせ

- 商品を保存するものですので、いつも清潔にお使いください。
- 床がぬれてもよいところで使用してください。
湿度が高いときは、外装やガラス扉に付着した露が滴下することがありますので、壁と製品とのすき間をあけてください。(おおよそ 5cm 以上) 特に 2 台並べて設置するとき(背面合わせ、他社製品含む)は、製品と製品の間にすき間をあけてください。
すき間をあけないと結露しやすく床をぬらす原因になります。
- 使いはじめは、プラスチックなど臭いがすることがありますが有害ではありません。

庫内の清掃

工場出荷時に庫内は清掃してありますが、念のため、ご使用前に清掃してください。
また、各部品が所定の位置にきちんと取り付けられているか点検してください。(☎ 8 ページ)

運転・停止のしかた

警告



専用

食品等の一時保存用として使用すること
食品は新鮮なうちに消費してください。冷蔵
ショーケースに入れても食品はいたみます。ま
た、食品等の保存以外の用途で使用する、保
存品の品質低下等の原因になります。



禁止

庫内には絶対入らないこと
閉じ込められたり、ケガの原因になります。



禁止

ガラス扉に物を当てないこと
ガラス扉に物を当てたり、乱暴な取り扱いをする
と、ガラスが割れ、ケガの原因になります。



禁止

機械室に手を入れないこと
ファンが高速回転しているので、ケガや故障の原
因になります。また内部の部品が高温のため、や
けどの原因になります。

注意



禁止

電源プラグの抜き差しや元電源の入切に
よる製品の運転・停止は行わないこと
感電やショートの原因になります。



空気吸込口や吹出口に棒などを入れない
こと
挿入禁止 内部でファンが高速回転しているので、ケガの
原因になります。

使用上の注意

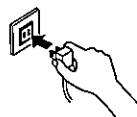
- プラスチック部分(とって、冷却ダクト、ガラス扉枠など)には殺虫剤をかけたり、油分を付着させないでください。変形したり、割れたりすることがあります。

お知らせ

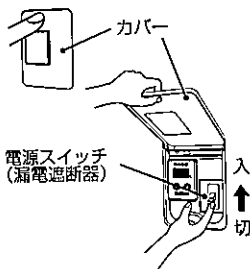
- できるだけ早く新鮮なうちに商品を消費してください。
冷蔵庫なら安心という過信は禁物です。
- 使用環境や状況によっては、庫内に霜が発生する場合があります。
霜が付いたまま使用すると、商品の上に落ちたり冷却不良になる原因となりますので、取り除いてください。

運転の手順

- 1 電源プラグを専用コンセントに差し込みます。



- 2 電源スイッチ(漏電遮断器)のカバー上部を、指で押して開けます。



- 3 電源スイッチ(漏電遮断器)を「ON(入)」にします。
⇒電源を入れると、庫内ファンが回転し、約3.5分後圧縮機、凝縮器ファンが運転を始めます。

■ ガラス扉の開閉

お知らせ

- ガラス扉はとってを持って静かに開閉してください。
- ガラス扉の開閉は、開けようとするガラス扉の反対のガラス扉が閉まっていることを確認してから行ってください。
- ガラス扉はきちんと最後まで閉めてください。ガラス扉がきちんと閉まっていないと庫内の温度が上昇して、中の商品を悪くする原因になります。
- ガラス扉を開いたまま使用しないでください。ガラス扉の開放時間が長かったり、開閉頻度が多いと、冷蔵効果が悪くなります。
- 開閉直後はガラス扉の庫内側が曇ることがあります。ガラス扉を閉めて暫くすると曇りが解消します。
- ガラス扉のすき間に指を入れないでください。

■ 庫内温度設定のしかた

庫内の設定温度は、出荷時に「5℃」にセットしてあります。操作パネルの温度設定ボタンを押し、必要に応じて庫内温度を設定してください。

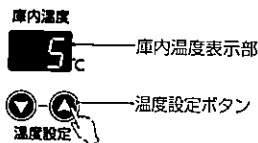
お知らせ

- 設定温度を下げてても早く冷えません。設定温度が低くなるだけです。
- 庫内の温度設定範囲は、「仕様」の庫内温度設定範囲を参照してください。(P.23 ページ) 庫内の設定温度は、周囲温度などにより設定された温度にならない場合があります。
- 庫内温度(表示温度)は、庫内が無負荷の状態在庫内中央の温度とほぼ等しくなるように設定されています。商品の入れかた、ガラス扉の開閉および庫内の場所などにより、実際の温度と異なる場合があります。

■ 庫内温度を設定する方法

- 1 操作パネルの温度設定ボタンの▲(上がる)または▼(下がる)を押します。

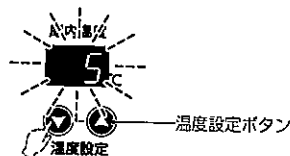
⇒ 庫内温度表示部に現在の設定温度が点滅表示されます。



- 2 設定温度が点滅表示された状態で、温度設定ボタンの▲(上がる)または▼(下がる)を押して、設定したい温度に合わせます。

お知らせ

- 庫内温度は、2℃～12℃まで調節可能です。商品によって庫内温度の調節をしてください。



■ 強冷運転設定のしかた

庫内を早く冷やしたい場合は、強冷運転にしてください。強冷運転にすると、庫内ファンが連続運転し、庫内を早く冷やすことができます。

お知らせ

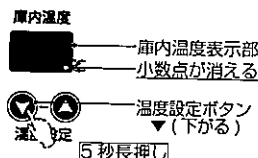
- 出荷時は、通常運転(省エネ運転)にセットしています。通常運転(省エネ運転)中は、庫内ファンが間欠動作を行います。

- 1 温度設定ボタンの▼(下がる)を5秒長押しします。

⇒ 庫内温度表示部の小数点が消え、強冷運転になります。

お知らせ

- 通常運転(省エネ運転)に変更する場合は、温度設定ボタンの▼(下がる)を5秒長押ししてください。庫内温度表示部の小数点が点灯し、通常運転(省エネ運転)になります。



■ 霜取りについて

約4時間ごとに1回、自動で冷却器の霜取りを行います。
霜取中は、庫内温度表示部に「dF」を表示します。



お知らせ

- 冷却器の霜付き具合により霜取時間が異なります。
- 冷却器の霜付きが少ない場合は、庫内温度表示部に「dF」が表示されません。
- 停電の場合は、復帰してから約4時間後に霜取りが始まります。

■ 棚網の取り付けかた

⚠ 注意



棚網の取り付けは、正しく確実に行うこと
脱落するとケガの原因になります。

取り付け

お知らせ

- 棚網は5cmおきに調節できます。商品の大きさに合わせて取付位置を調節してください。

1 ガラス扉を製品から取り外します。

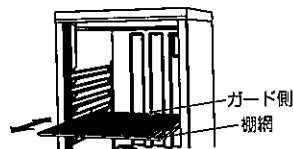
- ①ガラス扉を中央に移動します。
- ②右側ガラス扉を両手で持ち上げながら、下側を手前に引いて、取り外します。
- ③左側ガラス扉も②と同じ手順で取り外します。



2 棚網は、ガード側を後方上側にして取り付けます。

お知らせ

- 棚網はガード側を前側にして取り付けないでください。
商品が棚網の後方から落ちて、冷気吹出口をふさぎ、商品が凍るおそれがあります。

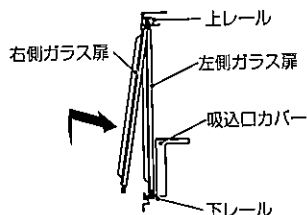


3 ガラス扉を取り付けます。

- ①左側ガラス扉を中央から上レールに差し込み、下側を下レールに取り付けます。
- ②右側ガラス扉も①と同じ手順で取り付けます。

お知らせ

- ガラス扉の取り付けは、左側ガラス扉が庫内側、右側ガラス扉が外側にしてください。
反対に取り付けると、ガラス扉が閉まりません。



■ ドレンパンの取り付けかた

「■毎日のお手入れ(ドレンパン)」に従って、製品底面にドレンパンを取り付けます。(☞15ページ)

商品の入れかた



揮発性、引火性のある薬品およびその類似品（たとえば、ベンジン・エーテル・接着剤・LPG など）は庫内に入れないこと
爆発や火災の原因になります。

禁止



棚網には商品を投げ入れたり、各製品の耐荷重以上の商品を載せないこと

禁止

SSB-48DTL,SSB-48DT	30kg
SSB-63DTL	40kg
SSB-70DT	42kg
SSB-63DL	55kg
SSB-70D,SSB-85DTL	60kg
SSB-85DL	75kg

棚網などの落下により、ケガの原因になります。



庫内の冷氣吹出口にはビンやカン類を入れないこと

禁止

中身が凍って割れ、ケガの原因になります。



密閉

酢酸、イースト菌等の金属の腐食を促進する可能性のあるものを含んだ商品を庫内に入れる場合は、必ず密閉容器に入れて保存すること
蒸発器や銅パイプの腐食を早め、故障の原因になります。

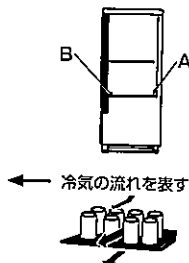
電源を入れてから約2時間後、庫内が十分に冷えていることを確認し、商品を入れてください。

お知らせ

庫内は「冷氣循環方式」です。庫内全体に循環されないと、場所によって、冷えすぎたり、冷えが悪くなったりします。以下の「注意事項」を守ってください。

注意事項

- 温かい商品は冷ましてから入れてください。
そのまま入れると庫内の温度が上昇し、他の商品が悪くなったり、冷凍装置に負担がかかって故障の原因になります。
- 水分の多いものや新鮮な野菜、臭いのある魚類などは、ラップやふた付き容器などで密閉してから入れてください。そのまま入れると、乾燥したり、臭いがほかのものに移ったりすることがあります。
- 商品で冷氣吹出口（A部）、冷氣吸込口（B部）をふさがないでください。
- 庫内の冷氣吹出口付近に、凍ってはいけな商品置かないでください。
- 酢酸を含んだ商品などがドアパッキングに付着したときは、きれいにふき取ってください。そのままにするとドアパッキングが変色や変形することがあります。
- ビール、ジュースなどを横積みして載せないでください。
冷気の循環が悪くなり、冷えが悪くなります。
- 庫内に商品を詰めすぎないようにしてください。
冷気の通りをよくするため、商品と商品とのすき間を適当に空けてください。
- 商品は、棚網からはみ出さないように入れてください。棚網の後のガードを越えて商品を入れないでください。

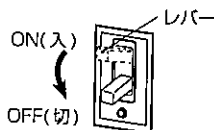


停止の手順

- 1 電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にします。

お知らせ

- 製品の使用を中止して保管する場合は、庫内、棚網、ドアパッキングなどをきれいに掃除してください。（☞14ページ）



お手入れと点検



掃除・お手入れはこまめに行うこと

洗剤等を使用する場合は、その用法、用量および使用上の注意をよく読み、十分に理解してから使用してください。雑菌の繁殖や商品の腐敗の原因になります。

■ サービスマンによる安全点検のおすすめ

製品のご使用に支障がなくても、保証期間を過ぎてご使用されている場合は、水かかりや汚れによる電気部品の絶縁劣化、経年変化などにより、感電、火災、水漏れなどの原因になることがあります。ホシザキ販売会社へ点検をご依頼ください。(有料)

点検内容

- 製品内部のほこりの堆積、水漏れ、汚れなど確認と対処
- 本体および使用部品の経年変化の状況など確認と対処

■ お手入れのしかた

毎日のお手入れは、殺菌効果のある逆性石けん(塩化ベンザルコニウム)の使用をおすすめします。

逆性石けん(塩化ベンザルコニウム)はホシザキ販売会社にお問い合わせください。

逆性石けん(塩化ベンザルコニウム)はメーカー推奨の濃度に希釈したものをご使用ください。

汚れがつかっているときは、中性洗剤などを含ませてふき取り、洗剤分が残っていない状態で逆性石けんをお使いください。

使用上の注意

- 次のようなものは使わないでください。
<塗装面やプラスチック面をいためるもの>
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・たわしなど。
特に換気扇・レンジなどに使用する強力な洗剤。
- <さびの発生につながるもの>
塩素系漂白剤(次亜塩素酸ソーダ)など。
上記以外の洗剤でも塗装面やプラスチック面をいためるものがあります。不具合が発生した場合は直ちに使用を中止してください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その使いかたに従ってください。

お知らせ

- 洗剤分が残っていると、金属、プラスチック面をいためる原因になります。
- お手入れポイントをまとめた「お手入れガイド」もご覧ください。(P.24 ページ)

ステンレスのお手入れ

ステンレスでも適切な手入れをしないとさびることがあります。

日常のお手入れは、やわらかい布にぬるま湯を含ませてふき取ってください。

ひどい汚れは、食器用中性洗剤などを含ませてふき取り、洗剤分を残さないでください。

汚れがひどいときは都度行ってください。

■ 毎日のお手入れ

ガラス扉・とって

ガラス扉、とっては雑菌の付きやすいところです。隔々まで掃除をして常に清潔にしてください。ガラス扉は特に梅雨、夏季および雨の日など湿気の多い日や厨房内など湿度の高い場所でお使いになる場合には、露が付くことがありますので、こまめに布でふき取ってください。

お知らせ

- やわらかい布にぬるま湯を含ませて汚れをふき取ってください。



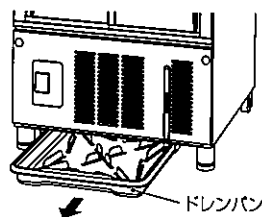
ドレンパン

この製品には、除霜水処理のため強制蒸発機能が付いていますが、扉の開閉が頻繁なときや梅雨、夏季および雨の日など湿気の多い日や厨房内など湿度の高い場所でお使いになる場合には、ドレンパンに水がたまりやすくなります。ドレンパンの水があふれ床をぬらすことがありますので、ドレンパンの水を毎日捨ててください。

お知らせ

- 2～3日ガラス扉を開閉しないときでも、ドレンパンを毎日確認し、必ず水を捨ててください。水があふれ、床をぬらすことがあります。
- ドレンパンを取り付け忘れや、取付レールの奥に突き当たらない不完全な取り付け状態では、水漏れの原因となります。清掃後はドレンパンを確実に取り付けてください。

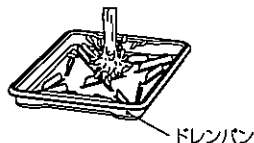
- 1 ドレンパンを少し引き出します。
- 2 ドレンパンに水がたまっているときは、ドレンパンを水平に引き出し、水を捨てます。



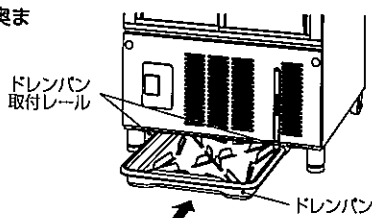
- 3 ドレンパンをきれいな水で洗い、清潔なふきんでふき取ります。

使用上の注意

- ドレンパンは、40℃以上のお湯で洗わないでください。変形する場合があります。
- ドレンパンのお手入れをするときは、たたいたり、落としたりしないでください。破損する場合があります。



- 4 ドレンパンを、製品底面のドレンパン取付レールに奥まで確実に差し込みます。



■ 1週間に1回のお手入れ

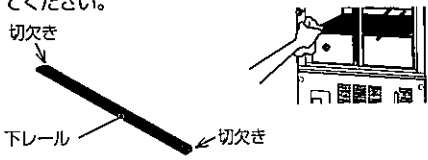
ドアパッキン・ドアパッキン当たり面・ドアレール・天板

ドアパッキン・ドアパッキン当たり面・ドアレール・天板は、汚れが付きやすいところです。隅々まで掃除してください。

逆性石けんを含ませたふきんでふいてください。5分程度放置したあと、水ですすぎ固くしぼった清潔なふきんでふき上げてください。汚れがひどい場合は、ドアパッキンを取り外して、メーカー推奨の濃度に希釈した中性洗剤などを含ませてふき取り、洗剤分を残さないでください。

使用上の注意

- ドアパッキン、ドアパッキンの当たり面のお手入れをするときは、酸性・アルカリ性洗剤、または漂白剤や殺菌用のアルコールは使用しないでください。ドアパッキンが劣化し（硬化および変形）、冷気漏れの原因となります。
- ドアパッキンに酢・食用油などが付着しても、劣化することがあります。付着した際は、すみやかにふき取ってください。
- 商品の汚れかすや、汁などを付けたまま使用すると、早くいたみます。
- ドアパッキンはプラスチックですので、40℃以上のお湯で洗わないでください。変形する場合があります。
- 下レールは、両端の切欠きを庫内側にして取り付けてください。
- 下レールを取り付けてから、ガラス扉を取り付けてください。



内装（庫内）

あらかじめ棚網を外し、逆性石けんを含ませたふきんで庫内を隅々までふいてください。5分程度放置したあと、水ですすぎ固くしぼった清潔なふきんでふき上げてください。



お知らせ

- 庫内に直接水をかけないでください。
- 庫内に水がたまった場合は、ふきんでふき取ってください。
- 表面に深い傷を付けると、さびることがあります。

棚網

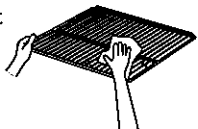
△ 注意



棚網の取り付けは、正しく確実に行うこと

取り付け 脱落するとケガの原因になることがあります。

棚網は、逆性石けんを含ませたふきんでふいてください。5分程度放置したあと、水ですすぎ固くしぼった清潔なふきんでふき上げてください。



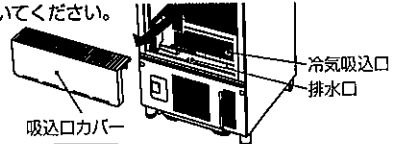
吸込口カバー

庫内底に水やゴミがたまっていないか、確認してください。

隅々まで掃除をして常に清潔にしてください。逆性石けんを含ませたふきんでふいてください。5分程度放置したあと、水ですすぎ固くしぼった清潔なふきんでふき上げてください。

取り外し

吸込口カバーを、真上に持ち上げて取り外してください。排水口にゴミがたまっていないか確認し、ゴミを取り除いてください。

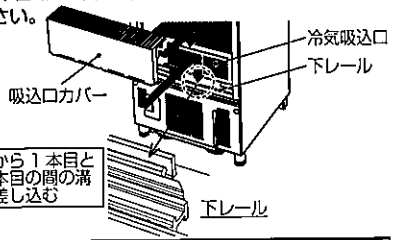


使用上の注意

- 冷気吸込口の内部に温度検知センサーがあります。冷気吸込口に指や棒などを入れないでください。温度検知センサーが破損すると、正常な運転ができなくなります。

取り付け

吸込口カバーを、冷気吸込口上の溝と、下レールの奥から1本目と2本目の間の溝に差し込んで、取り付けてください。



外装

外装は、油分・水分・ほこりなどが付きやすいところです。隅々までお手入れをして常に清潔にしてください。逆性石けんを含ませたふきんでふいてください。5分程度放置したあと、水ですすぎ固くしぼった清潔なふきんでふき上げてください。

使用上の注意

- 外装は塗装鋼板、ステンレスですが、お手入れをして常に清潔にしていないとさびる場合があります。
- フロントパネルには塗装がしてあります。塗装面が傷つくため、市販のステンレスクリーナーは使用しないでください。



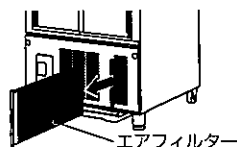
1 か月に 2 回のお手入れ

エアフィルター

使用上の注意

- エアフィルターにゴミやほこりが付くと、正常な運転ができなくなります。
- エアフィルターを取り外したまま運転しないでください。機械内にほこりが入り、故障の原因になります。

1 エアフィルターを、手前に引いて取り出します。



2 エアフィルターを水または中性洗剤を入れたぬるま湯で洗います。このときエアフィルターのネットをやぶらないよう注意して洗います。

使用上の注意

- エアフィルターは、40℃以上のお湯で洗わないでください。変形する場合があります。
- たたいたり、落としたりしないでください。破損することがあります。



3 水洗いしたあと、十分に乾かします。

4 エアフィルターを取り付けます。

使用上の注意

- エアフィルターの上下方向に注意して取り付けてください。段のある方が上です。



■ 1 か月に 1 回の点検

漏電遮断器機能の点検



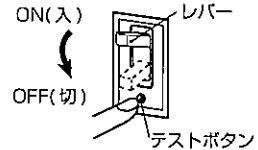
漏電遮断器の機能は月に 1 回、動作確認すること
電源スイッチ（漏電遮断器）を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。

動作点検

1 電装箱にある電源スイッチ（漏電遮断器）のテストボタンを押します。

⇒電源スイッチ（漏電遮断器）のレバーが「OFF(切)」に切り替われば正常です。

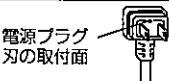
- 「OFF(切)」に切り替わらない場合は、すぐにホシザキ販売会社に連絡してください。



2 電源スイッチ（漏電遮断器）のレバーを「ON(入)」にします。

■ 1 年に 1 回の点検

アース線・電源プラグ・コードの点検

調べるところ	処置方法
(1) アース線が切れたり接続部がゆるんでいませんか？	異常の場合は、電気工事業者に修理を依頼してください。
(2) 電源プラグや電源コードに異常な発熱や破損、重い物が載ったり、はさみ込まれたりしていませんか？	異常の場合は、すぐにホシザキ販売会社に修理を依頼してください。
(3) 電源プラグの刃と刃の取付面 およびコンセントにほこりがついていませんか？ 	ほこりがついている場合は、元電源を切ってからお手入れをしてください。
(4) 電源プラグが専用コンセントに差し込んでありますか？	他の機器と共用している場合は、専用コンセントにしてください。

※フロン排出抑制法に基づき、3 か月に 1 回以上の点検・記録を行ってください。
点検方法などについては、ホシザキ販売会社までお問い合わせください。

■ 消耗品・定期交換部品

この製品には、消耗品、定期交換部品はありません。

長期停止



密閉防止

製品を一時的に使用を中止して保管する場合は、ガラス扉を密閉できないようにすること
幼児が閉じ込められる原因になります。



電源を切る

1週間以上使用しない場合は、電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にし、電源プラグを抜くか、元電源を切ること
ほこりがたまって、発熱、発火の原因になります。

■ 長期停止の手順

- 1 運転を停止します。（☞ 13 ページ）
- 2 「■お手入れのしかた」に従って、以下のお手入れを行います。（☞ 14 ページ）
 - (1) 毎日のお手入れ（☞ 15 ページ）
 - (2) 1週間に1回のお手入れ（☞ 16 ページ）
 - (3) 1か月に2回のお手入れ（☞ 17 ページ）

お手入れと点検

お手入れと点検

アフターサービス

警告



修理技術者以外の方は分解したり、修理しないこと

分解禁止 異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると火災、感電、ケガ、水漏れの原因になります。



修理をするときは、ホシザキ販売会社に依頼すること

修理依頼 お客様での修理は、行わないこと。異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

修理・お取り扱い・お手入れ・転居などのご相談は、ホシザキ販売会社にお申し付けください。

■ 保証書(ホシザキ販売会社発行)

設置年月日(お買い上げ年月日)・販売会社名などの記入を必ず確認し、ホシザキ販売会社にご連絡ください。

保証期間は、設置年月日より1年間です。

■ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年です。

お知らせ

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保守制度のおすすめ

当社の保守制度へのご加入をおすすめいたします。これは定期的に点検整備を行い、常に安定した性能を維持して、ご使用いただくための制度です。詳細はホシザキ販売会社にお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるとき

「修理を依頼される前に」に従って調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いて、ホシザキ販売会社にご連絡ください。(☞裏表紙)

ご連絡いただきたい内容

- 形名(ネームプレートに記載)
- 製造番号(ネームプレートに記載)
- 設置年月日(保証書に記載)
- 故障状況(できるだけ具体的に)
- お客様名
- ご住所
- お電話番号

保証期間中の修理

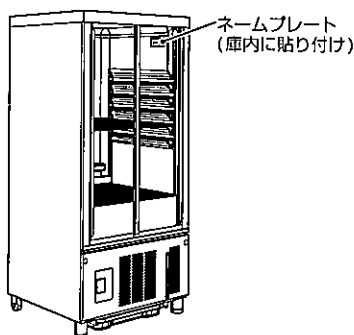
保証書の規定に従って、ホシザキ販売会社が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間満了後の修理

保証期間満了後は、修理によって製品の性能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

■ ネームプレート貼付位置

この製品についてお問い合わせいただく場合は、このネームプレートに記載されている形名をお知らせください。



■ 保証とサービス

1 この製品には、保証書がついています

- (1) 保証書はホシザキ販売会社で発行します。必ずお受け取りいただき、よくお読みになり大切に保管してください。
- (2) 転居などで修理の依頼先がご不明の場合は裏表紙に記載のホシザキ販売会社にご相談ください。

2 保証修理について

以下は保証書と同一内容です。

1. 保証修理の内容

この保証は、保証書表記載のこの製品を構成する後記③に記載する保証部品について、当社の責任により不具合が発生した場合に、この保証書に記載する期間と条件に従って、この無料修理（この無料修理を「保証修理」といいます。）をお約束するものです。保証修理は、部品の交換または補修により行います。なお、保証修理時に取り外した不具合部品は、当社の所有となります。

2. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、ホシザキ販売会社にご連絡ください。ホシザキ販売会社のサービスマンがお伺いした際、この保証書をご提示のうえ、保証修理をお申し付けください。保証書を提示されない場合、保証修理をお受けいたしかねます。

3. 保証部品

この保証書に基づく保証の対象となる部品（保証部品といいます。）は、この説明書に記載する消耗品を除いたものです。

4. 保証期間

保証修理を受けられる期間（保証期間といいます。）は、保証書表記載のとおりです。なお、交換部品として新たに装着した部品についての保証期間は、この保証書の期間満了時までとします。

5. お客様にお守りいただく事項

お客様がこの製品の取扱説明書、この製品に貼付されたラベルその他の注意書きに従って、正しい使用・お手入れがなされている場合に、保証修理をいたします。これらが守られていない場合は、保証修理をお断りすることがありますので、ご承知おきください。

- (1) この説明書に記載する取扱方法、貼付ラベルその他の注意書きに従った正しい使用・お手入れ
- (2) 法令等で定められた安全性確保に関する日常および定期的な点検整備
- (3) この説明書に記載する消耗品の交換、および定期交換部品の指定どおりの交換

6. 保証しない事項

- (1) 以下の現象等、不具合と認められないものは、保証修理いたしません。
 - 通常の使用消耗および経年変化により発生する現象（樹脂部品、塗装面、メッキ面等の自然退色・劣化・剥離等）
 - この製品の性能上問題がないことが一般的に認められている現象等（通常の運転音、振動、操作フィーリング等）

(2) 以下の不具合は、外的要因によるものであり、当社の責任による不具合ではありませんから、保証修理いたしません。

- 地震・風水害・落雷等の自然災害、火災による罹災事故、公害・塩害・有毒ガス・薬品・異常電圧等を原因とした不具合
- 給排水管の破損、異物の詰りによる不具合
- 給水、給電が行われなかったことに起因する不具合
- お客様の故意・過失により生じた不具合
- ホシザキ販売会社以外の第三者が、修理または改造等したことによる不具合
- 不具合の原因が、この製品以外の部分にある場合の不具合
- 寒冷時における製品内の凍結による不具合
- 車両、船舶等の揺れ動く場所での使用による不具合

(3) 以下の不具合は、適切な点検・整備・お手入れまたは正しい使用・管理等がなされていないことに起因するものですから、保証修理いたしません。

- 法令等で定められた安全性確保に関する日常および定期的な点検整備の未実施に起因する不具合
- この説明書に記載する取扱方法、貼付ラベルその他の注意書きに従った正しい使用・お手入れの未実施に起因する不具合
- この説明書に記載する消耗品の交換、および定期交換部品の指定どおりの交換の未実施に起因する不具合
- 通常の注意で発見・処置できたにもかかわらず、放置した事により拡大した不具合
- 当社の指定する部品以外の部品・原材料または洗剤等を使用したことに起因する不具合

(4) 保証修理以外に、以下の費用については、この保証書に基づいて当社が負担することはいたしません。

- この製品を使用できなかったことによる賠償費用
- 自らまたはホシザキ販売会社以外が修理した場合の修理費用

7. 別途費用

以下の費用については、別途、お客様の費用負担としてご請求申し上げます。

- (1) 保証修理を行うため、離島または離島に準ずる遠隔地に赴く場合の旅費（航空運賃・乗船運賃・宿泊費等）
- (2) 取扱説明書に記載する消耗品および定期交換部品の費用（作業費を含む）

8. 保証の発効

この保証は、機種、機番、設置年月日が記入されていることにより有効となります。

9. 保証の失効

この保証は、保証書に記載する保証期間が満了した時に、効力を失います。また、保証期間であっても、製品が日本国外に持ち出された時には、効力を失います。

10. その他

- (1) この保証は、日本国内においてのみ有効です。
- (2) この保証書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- (3) この保証書は、この保証によって、お客様の権利を制限するものではありません。

※ This warranty is valid only in Japan.

修理を依頼される前に

「故障かな?」と思われるときは、以下の項目に従って調べてください。

なお異常があるときは、電源プラグを抜くか元電源を切って、ホシザキ販売会社にご連絡ください。(☎裏表紙) 修理は専門の技術が必要です。お客様での修理は行わないでください。

■ 動作の異常

こんなときは	調べるところ	処置方法
運転しない	(1) 電源プラグが抜けていませんか?	抜けているときは、コンセントに根元までしっかりと差し込んでください。
	(2) 停電ではありませんか?	通電するのを待ってください。
	(3) 元電源が切れていませんか?	元電源(ブレーカー)を確認してください。「OFF(切)」になっていたら「ON(入)」にしてください。
	(4) 電源スイッチ(漏電遮断器)が「OFF(切)」になっていませんか?	電源スイッチ(漏電遮断器)を「ON(入)」にしてください。電源スイッチ(漏電遮断器)を「ON(入)」にしても、自動的に「OFF(切)」になる場合は、漏電している可能性があります。ホシザキ販売会社に連絡してください。
よく冷えない	(1) 周囲温度が30℃以上になっていませんか?	換気や空調で周囲温度を下げてください。
	(2) ガラス扉の開閉が多くありませんか?	開閉頻度が多いと冷えが悪くなります。
	(3) 庫内の温度設定が高くなっていませんか?	設定し直してください。(☎11ページ)
	(4) 商品を詰めすぎではありませんか?	庫内に商品を詰めすぎないようにしてください。冷気の通りをよくするため、商品と商品とのすき間を適当にあげてください。
	(5) 庫内に温かい商品が入っていませんか?	温かい商品は冷ましてから入れてください。そのまま入れますと庫内温度が上昇し他の商品に悪い影響を与えたり、製品に負担がかかり故障の原因になります。
	(6) エアフィルターが汚れていませんか?	お手入れしてください。(☎17ページ)
	(7) ガラス扉が開きっぱなしになっていませんか?	ガラス扉の開放時間が長いと、冷蔵効果が悪くなります。
扉のガラス面、周辺に露が付く	(1) 周囲の湿度が高くないですか?	梅雨、夏季、雨の日などの湿気が多い日には露が付くことがありますが、故障ではありません。ときどきふき取ってください。
	(2) ガラス扉はしっかり閉まっていますか?	ガラス扉がきちんと閉まっていることを確認してください。
本体前面枠に露が付く	(1) 周囲の湿度が高くないですか?	梅雨、夏季、雨の日などの湿気が多い日には露が付くことがありますが、故障ではありません。ときどきふき取ってください。
異常音がする	(1) 運転中の機械の運転音(圧縮機、凝縮器ファンなど)ではありませんか?	運転中は製品の運転音(圧縮機、凝縮器ファンなど)がしますが、異常ではありません。
庫内に露が付く	(1) 周囲の湿度が高くないですか?	梅雨、夏季、雨の日などの湿気が多い日には露が付くことがありますが、故障ではありません。ときどきふき取ってください。
	(2) ガラス扉の開閉が多くありませんか?	開閉頻度が多いと庫内に露が付きます。

■ 警報表示

異常が起きたときは、庫内温度表示部に警報表示番号が点滅し、庫内温度と交互に表示されます。

警報表示番号	内容	調べるところ	処置方法
E2	庫内温度が低い	(1) 周囲温度が5℃以下になっていませんか?	空調で周囲温度5~30℃にしてください。
		(2) 大量の冷凍商品を解凍していませんか?	大量の冷凍商品を解凍しないでください。
E8	デフロストサーミスタ	—	ホシザキ販売会社にご連絡してください。
EA、ED	マイコンの故障		
oF	異常ではありません。(霜取時に表示)(☎12ページ)		

■ 警報表示番号の解除のしかた

警報表示番号「E2」が点滅している場合、庫内温度が正常に戻れば解除されます。(「E8」、「EA、ED」は解除できません。)

仕様

■仕様

この製品は、日本国内仕様です。

お知らせ

- 使用条件は、周囲温度 5 ~ 30℃ 電圧変動：定格電圧の± 10%以内です。

<単相 100V 50/60Hz>

形名	電源容量	冷却内容積 (L)	庫内温度 設定範囲	棚網 部品コード	棚網 枚数	棚網の 耐荷重値(kg)	製品質量 (kg)
SSB-48DTL	0.27kVA(2.7A)	102	2 ~ 12℃	366232G01	1	30	36
SSB-48DT	0.49kVA(4.9A)	152		366232G01	2	30	42
SSB-63DTL	0.27kVA(2.7A)	138		366712G01	1	40	41
SSB-63DL	0.27kVA(2.7A)	173		366233G01	1	55	45
SSB-70DT	0.49kVA(4.9A)	229		366713G01	2	42	52
SSB-70D	0.49kVA(4.9A)	287		366235G01	2	60	56
SSB-85DTL	0.49kVA(4.9A)	190		366714G01	1	60	51
SSB-85DL	0.49kVA(4.9A)	239		366234G01	1	75	55

※庫内温度は、使用周囲温度 30℃のときの目値です。

また、使用周囲温度が変化すると庫内温度の調節範囲は変化することがあります。

■外形寸法

タイプ	48DTL	48DT	63DTL	63DL	70DT	70D	85DTL	85DL	
外形寸法	W	485	485	630	630	700	700	850	850
	D	450	450	450	550	450	550	450	550
	H	1080	1410	1080	1080	1410	1410	1080	1080
外観									

失ってしまっても大丈夫
修理を依頼される前に

お手入れガイド

■ 小形冷蔵ショーケース (SSBシリーズ)

お願い 1 2 3 4

ON(入)

OFF(切)

電源を切って
行ってください。

清潔な手で
行ってください。

清潔なふきんを
使用してください。

商品は清潔な別の
冷蔵庫に移して
行ってください。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を含ませたふきんでふき取り、洗剤分を残さないでください。
- 洗剤分が残らないように、きれいな水でしっかりすすいでください。
- プラスチックは、40℃以上のお湯で洗わないでください。変形する場合があります。

ステンレスのお手入れ

ステンレスでも適切な手入れをしないとさびることがあります。日常のお手入れは、やわらかい布にぬるま湯を含ませてふき取ってください。ひどい汚れは、中性洗剤などを含ませてふき取り、洗剤分を残さないでください。汚れがひどいときは都度行ってください。

使用する殺菌消毒剤

逆性石けん
(塩化ベンザルコニウム)

逆性石けん(塩化ベンザルコニウム)はメーカー推奨の濃度に希釈したものをご使用ください。汚れが付いているときは、中性洗剤などを含ませてふき取り、洗剤分が残っていない状態で逆性石けんをお使いください。

POINT 1 ガラス扉・とって

毎日

- やわらかい布にぬるま湯を含ませて汚れをふき取ってください。



POINT 2 ドレンパン

- 水がたまっていないか確認してください。



POINT 3 ドアパッキン・パッキン当たり面 ドアレール・天板

1週間に1回

- 商品の汚れがすや汁などを付けたまま使用すると早くいたみます。



POINT 4 庫内

- 棚網を取り外して庫内をふいてください。



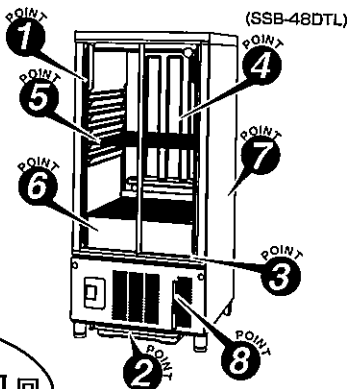
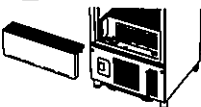
POINT 5 棚網

- 棚網を取り外して掃除してください。



POINT 6 吸込口カバー

- 庫内底に、水やゴミがたまっていないか確認してください。



POINT 7 外装

- フロントパネルには塗装がしてあります。塗装面が傷つくため、市販のステンレススクリーナーは使用しないでください。



1か月に2回

POINT 8 エアフィルター

- 水または中性洗剤を入れたぬるま湯で洗ってください。取付方向に注意して、元通りに取り付けてから使用してください。



* 汚れのひどいときは都度行ってください。

* 逆性石けん(塩化ベンザルコニウム)はホシザキ販売会社にお問い合わせください。

* 洗剤等を使用する場合は、その用法、用量および使用上の注意をよく読み、十分に理解してから使用してください。

* このページはコピーし、製品の近くに貼り付けるなどして、必要なときにご利用ください。

据付工事説明



据付工事は専門業者がこの据付工事説明に従って実施すること

専門業者 据付工事完了後試運転を行い、異常がないことを確認し、取扱説明書に従ってお客様に使用方法・お手入れのしかたを説明してください。

も く じ

開梱・設置	26
■ 保護シートの除去	
■ 点検	
■ 運搬のしかた	
■ 設置場所	
■ 設置のしかた	
電気工事	29
■ アース線の接続	
■ 電源ラインの接続	
試運転	30
■ 試運転前の準備	
■ 運転動作確認	

開梱・設置

■ 保護シートの除去

外装に貼ってある保護シートをはがしてください。そのままにしておくと、はがれなくなります。直射日光に当たるときは、冷えてからをはがしてください。

お知らせ

- ラベル類ははがさないでください。

■ 点検

1 フロントパネルなどの外周りや、内装部品に傷や破損がないことを点検します。

2 取扱説明書の「付属品」を見て、不足部品、傷、破損がないことを点検します。(p.8 ページ)

お知らせ

- 点検の結果、不足部品、傷、破損があれば、ホシザキ販売会社に連絡してください。

■ 運搬のしかた

警告



禁止

製品を移動するときは、ガラス扉、フロントパネルを持たないこと

ガラス扉、フロントパネルが外れ、製品落下によるケガの原因になります。



禁止

製品を移動するときは、本体底面のドレンパン取付レール付近を持たないこと

ドレンパン取付レール付近を持つと、金属端面で手を切傷する原因になります。

注意



製品を移動するときは、転倒に十分注意すること

移動時注意 ケガの原因になります。



禁止

製品を移動するときは、ガラス扉を開けたままにしないこと

開けたまま移動すると、製品の破損やケガの原因になります。



禁止

製品を移動するときは、梱包用バンドを持たないこと

バンドが切れ、ケガの原因になります。



運搬

製品を移動するときは、軍手をして本体底面を持って行うこと

ケガの原因になります。

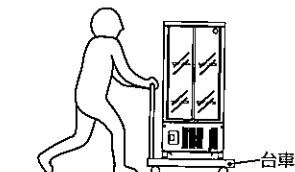
使用上の注意

- 製品を 45° 以上傾けないでください。故障の原因になります。

お知らせ

- 製品を移動するときは、前面縦枠・横枠を持たないでください。変形によりガラス扉が密閉できなくなり、霜付き・冷却不良の原因になります。

推奨運搬方法



台車に載せる

■ 設置場所



屋外に据え付けないこと
雨水のかかる場所に据え付けると、漏電、感電
屋外禁止の原因になります



湿気の多いところや、水のかかりやすい場所に据え付けないこと
湿気禁止 絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

⚠ 注意



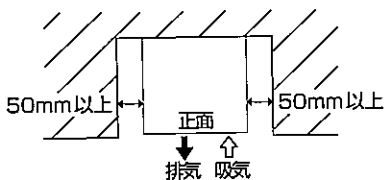
床面が丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると、水漏れ、転倒、落下によるケガの原因になります。
水平設置 また、扉が正しく閉まらず冷気漏れの原因になります。

設置条件

- 使用温度範囲は、周囲温度 5～30℃です。
- 直射日光の当たるところや、発熱器具（コンロなど）のそばには、据え付けしないでください。冷えが悪くなります。やむをえず直射日光の当たるところでは、必ず日除けを付けてください。
- 床がぬれてもよいところに据え付けてください。湿度が高いときは、外装に付着した露が滴下することがありますので、壁と製品とのすき間をあけてください。（おおよそ 50mm 以上）特に 2 台並べて設置するとき（他社製品含む）は、製品と製品の間にもすき間をあけてください。すき間をあけないと結露しやすく床をぬらす原因になります。
- 本体設置スペースは、設置条件により若干異なることがありますので、10mm 程度余裕を取ってください。（給排気スペース等は本体設置スペースとは別に確保が必要です。）
- 腐食性ガスが発生する場所に設置すると、故障の原因になる可能性があります。

製品のすき間

製品とのすき間は、下図のようにしてください。
すき間がないと、排熱が悪くなり、冷却能力の低下や故障の原因になることがあります。



■ 設置のしかた

水平に調整

⚠ 注意



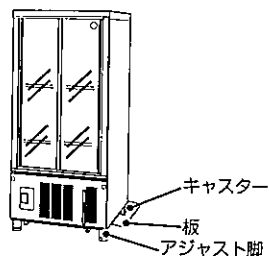
アジャスト脚の高さは、50～65mmの範囲で調節すること
調整範囲を超えるとアジャスト脚が外れたり、強度が下がり転倒や破損の原因になります。

水平設置

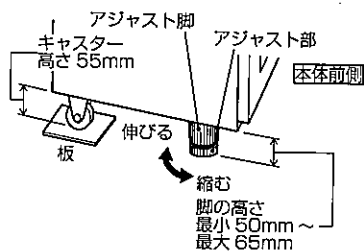
お知らせ

- 据え付けに不備があると、水漏れ、転倒、落下によるケガの原因になることがあります。
- ガラス扉の閉まりをよくするために、製品は水平に据え付けてください。

- 1 設置場所に置いてから、製品がガタつかず水平になるように、前側のアジャスト脚のアジャスト部を、モンキースパナやウォーターレンチプライヤなどで回し調整します。



- 2 アジャスト脚を調整しても製品がガタつく場合は、後側のキャスターに板（現地手配）をはさみ、製品が水平になるように調整します。



電気工事

警告

! 電気工事を始める前に、元電源を切ること
感電の原因になります。切った元電源には、この先で仕事をしているので電源を入れるな、という意味の標識を取り付けてください。

! 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付工事説明に従って施工し、必ず専用回路（過負荷・短絡保護あり）を使用すること
電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。

! 専用電源を使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用やタコ足配線をすると、感電、発熱、火災、また誤作動の原因になります。

! アース工事を行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要）

! 電源コードを傷つけないこと
加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重い物を載せたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

! めれた手で電源プラグや元電源など電気部品に触れたり、電源スイッチ（漏電遮断器）を操作しないこと
感電の原因になります。

! 電源プラグは確実に差し込むこと
接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

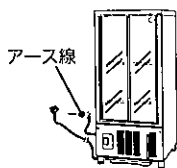
注意

! 電源電圧は定格電圧の90～110%の範囲内とすること
この範囲以外では発煙、発火、機械の故障や能力低下を招く原因になります。

電圧

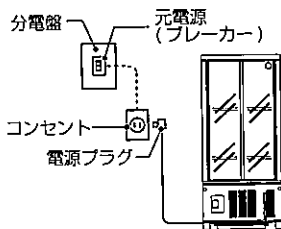
■ アース線の接続

アース線の接続を行ってください。
この製品にはアース線が取り付けられています。
●単相機：緑／黄色の電線



■ 電源ラインの接続

元電源（ブレーカー）の容量は、取扱説明書の「仕様」の電源容量に従ってください。（☞23ページ）



試運転

■ 試運転前の準備

庫内の清掃

やわらかい布に、水または、ぬるま湯を含ませて、庫内をきれいにふいてください。

棚網の取り付け

棚網を、この説明書の「■棚網の取り付けかた」に従って取り付けてください。(P.12 ページ)

ドレンパンの取り付け

ドレンパンを、この説明書の「■毎日のお手入れ (ドレンパン)」に従って取り付けてください。(P.15 ページ)

■ 運転動作確認

据付工事終了後、次の運転動作確認を行ってください。

- 1 電源・電圧を確認します。
※ 単相 100V の専用コンセントを使用していますか？
- 2 アース線を接続します。
※ アース線は確実に接続されていますか？
- 3 電源プラグをコンセントに差し込みます。
※ 電源プラグは確実に差し込まれていますか？
- 4 元電源を「ON (入)」にし、電装箱の電源スイッチ (漏電遮断器) を「ON (入)」にします。
※ 庫内温度表示は点灯していますか？
- 5 冷却運転を確認します。(周囲温度 30℃で約 2 時間)
※ 庫内は十分冷却されていますか？
- 6 操作説明をします。
※ お客様に取り扱い説明をしましたか？
- 7 説明書をお客様に渡します。
※ 取扱・据付工事説明書をお客様に渡しましたか？

●お買い求めの際に必ずご記入ください。

形名			
お買い求め年月日	年	月	日
お買い求め店名			
	電話 ()	-	

●ご相談窓口のご案内

お買い上げの商品またはこの取扱説明書の内容につきまして、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡なくお問い合わせください。

- ホシザキ北海道株式会社 …… ☎ (011) 841-4433 札幌市白石区菊水1条4-1-8
- ホシザキ東北株式会社 …… ☎ (022) 728-9511 仙台市青葉区昭和町2-38
- ホシザキ北関東株式会社 …… ☎ (048) 660-2311 さいたま市北区宮原町3-36
- ホシザキ関東株式会社 …… ☎ (03) 3943-6201 東京都文京区白山4-37-33
- ホシザキ東京株式会社 …… ☎ (03) 6275-3201 東京都品川区西品川1-1-1 住友不動産大崎ガーデンタワー21 階
- ホシザキ湘南株式会社 …… ☎ (045) 650-6121 横浜市中区桜木町2-2-5
- ホシザキ北信越株式会社 …… ☎ (076) 240-2266 金沢市松島2-26
- ホシザキ東海株式会社 …… ☎ (052) 563-5581 名古屋市中村区名駅5-21-3
- ホシザキ京阪株式会社 …… ☎ (06) 6762-5351 大阪市中央区内本町2-2-12 ホシザキ本町ビル
- ホシザキ阪神株式会社 …… ☎ (06) 6886-5691 大阪市淀川区木川東3-1-34
- ホシザキ中国株式会社 …… ☎ (082) 293-9451 広島市中区土橋町1-13
- ホシザキ四国株式会社 …… ☎ (087) 811-5610 高松市紺屋町3-3
- ホシザキ北九株式会社 …… ☎ (092) 471-7396 福岡市博多区博多駅南3-18-9
- ホシザキ南九株式会社 …… ☎ (099) 813-0007 鹿児島市下荒田4-41-11
- ホシザキ沖縄株式会社 …… ☎ (098) 861-1240 那覇市泊3-3-13
- ホシザキ株式会社 サービスセンター …… ☎ (0562) 97-2126 豊明市栄町南館3-16

ホシザキ株式会社

本 社 / 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3-16 ☎ (0562) 97-2111

冷蔵ショーケース：124L

返却時の梱包手順

※ご注意ください※

梱包前には、必ずトレイ（ドレンパン）に残っている水を捨ててください。

万が一、水を処分せずに返却されて、運送中に水がこぼれ他の商品が汚れてしまった場合、運送会社からお客様へ損害賠償を請求する場合がございます。



- ・ 下箱に本体をのせてください。

下箱の片側はマジックテープで留めてあるため、本体収納後はしっかりと閉じてください。



- ・コードをまとめて下箱と本体の隙間に収納してください。



- ・ショーケースの中に取扱説明書を入れてください。



- ・上箱を被せ、返却用 PP バンドでとめてください。

▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。
返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。
梱包の箱に貼り付けてあります。

お届け時の伝票の下にある赤い伝票が
返却用の伝票です。



梱包時PPバンドの使用法

①



輪をつくる。

②



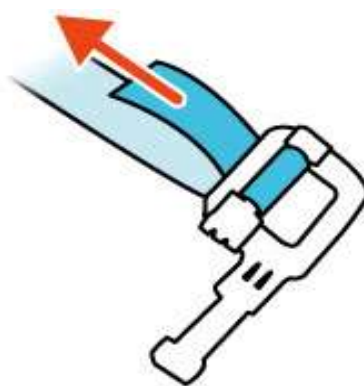
作った輪をストッパーに通す。

③



1本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方の
バンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、
しっかり締める。



手順を参考にしても分からない場合は、
動画でも確認できます。

QRコードまたは下記リンクから
ご視聴ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=8Zeju--OkI4>